

〔延喜式二十八〕諸國健兒略○中 周防國五十人略○中
諸國器仗略○中 周防國甲二領、横刀五口、弓廿、
張、征箭廿具、胡籙廿具、

長門國

長門國ハ、ナガトノクニト云フ、山陽道ニ在リ、東ハ周防、石見、南ハ周防及ビ海ニ接シ、西北ハ海ニ面ス、東西凡ソ十九里餘、南北凡ソ十三里餘、此國ハ古ヘ國府ヲ豐浦郡ニ置キ、厚狹アツサトヨラ豐浦置キ、豐浦郡ヲ分チテ豐東、豐西、豐田ノ三郡ト爲シ、新ニ見島郡ヲ建テシガ、後更ニ厚東、吉田ノ二郡ヲ厚狹郡ニ併セ、豐東、豐西、豐田ノ三郡ヲ廢シテ豐浦郡ヲ復セリ、明治維新ノ後、見島郡ヲ阿武郡ニ合セ、新ニ下關市ヲ設ケ、山口縣ヲシテ一市五郡ヲ治セシム、

名稱

〔倭名類聚抄五〕長門奈加

〔運步色葉集那〕長門長州

〔日本風土記寄語島名〕長門奴茄冬

〔日本書紀仲哀〕二年三月、是時熊襲叛之不朝貢、天皇於是將討熊襲國、則自德勒津發之、浮海而幸穴門、九月、興宮室于穴門而居之、是謂穴門豐浦宮、

〔古事記傳二十七〕穴戶は長門國と豐前國との間の海門にて、筑前國の北面の海より山陰道の南面の海に入る門なり、穴門としも名に負たるゆゑは、源貞世今川了俊が道ゆきふりと云物に云く、霜月の廿九日、長門の國府を出て、赤馬の關に移り、著ぬ、ひの山とかやいふ麓の、荒磯を傳ひて、はやともの浦にゆくほどに、向ひの山は、豐前國門司の關の上の峯なり、けり、海の面は八町とか